

まちひとしごと新聞

第2号
発行 三島信用金庫
静岡県三島市新谷155の1
055-981-0121
制作 静岡県立三島高校写真報道部
静岡県立熱海高校報道部
日本大学三島高校新聞部
協力 静岡県東部支援局

地域の魅力を考える

東部・伊豆地区の魅力を再確認することを目的とする本紙。今回は副知事・高校生意見交換会と地域に根差す企業の取り組みを取材しまとめた。

土屋副知事と高校生による意見交換会



▲高校生に熱く語りかける土屋副知事(左)

11月3日(金)、静岡新聞社内において土屋優行静岡副知事と高校生の意見交換会が行われた。静岡県庁や三島信用金庫の職員と共に県立三島高校写真報道部、県立熱海高校報道部、日本大学三島高校新聞部員たちが一堂に会し、地域の未来について語り合った。

地元を知る 養蚕む

今回の議題は「静岡東部・伊豆地域の将来を考える」で、具体的には「県東部で暮らしたい、戻って来たい」と思っている高校生にどうしたら良いか。現在、静岡東部地域では高齢化と生産年齢人口減少への対応が喫緊の課題だ。一方で、葦山反射炉の世界遺産登録や東京オリンピックの開催など、地域の未来について語り合った。

新しい情報発信

若者が流出する理由として、都会には進学や就職の選択肢が多く存在するよう感じる。これに対しては「出先で東部・伊豆地域の魅力を伝えてもらえるよう、まずは地域の人達を育成してほしい」との提言がなされた。県外で広告塔としての活躍を期待する。メディアは伝わる情報に

熱海の「空気と水のお医者さん」株式会社 平和エアテック

観光を設備で支える

観光地である熱海市は平成27年度の宿泊者数が300万人の大会を超え(熱海市HP)上り調子だ。昭和40年に創業し、今年で54年目を迎える株式会社平和

エアテックは、その躍進を裏から支える会社だ。社長の相川守氏と専務取締役の相川毅氏に話を聞いた。

同社の主な業務はエアコンなどの空調設備や冷凍冷蔵設備、給排水衛生設備の設置やメンテナンスで「24時間365日即時対応、どんな故障も修理します」をキャッチフレーズにアフターサービス面でも顧客に好評だ。

大手のエアコンメーカー「ダイキン」の協力店でありながら直修できる会社でありたい

と人材育成こそが信頼を得る基礎であるとの考えを語った。



社会貢献の在り方

「熱海に多数あるホテルや旅館にとって、空調や給排水設備のトラブルは可能な限り早く解決したいもの。だからこそ、いつでも駆けつけるのが社を認められるお取引先が多」と語る。

自分の仕事を誠実に行うことで社会に貢献する平和エアテックの姿は、若者にとって示唆に富むものだ。

と水(給排水)のお医者さん」を標榜する同社が、この熱海になく



みんなで地域を盛り上げよう!

「本日のようないい世代や立場を越えて意見交換する場が増えることを期待したい」

最後に土屋副知事は「本日のように共に考えることがとても重要。その上で、伝えたい情報をどう届けるか皆さんと一緒に考えたい」と述べた。高校生も大人と共に考え取り組んでいくことが必要である。